

以下、本文-----

## 新規腫瘍抗原に対するモノクローナル抗体(mAb)の作製

### 1. 研究の対象

高知大学医学部附属病院に保存されている、2015年4月～2020年11月に手術や生検で得られた腫瘍組織のパラフィン標本を、今回新たに作製した抗体を用いて染色します。対象となる腫瘍は、前立腺癌4症例分および膀胱がんや肺癌、頭頸部悪性腫瘍、脳腫瘍で、それらの腫瘍の主な組織型につき、それぞれ2症例分ずつ調べます。

### 2. 研究目的・方法

我々は高知大学泌尿器科学教室が明らかにした新規腫瘍抗原が種々の悪性腫瘍にどの程度出ているかを調べるができるモノクローナル抗体の作製を進めています。この腫瘍抗原が出ている腫瘍は、現在免疫学教室が開発中の、悪性腫瘍に対するペプチド免疫療法が有効である可能性があります。

まず、各診療科の医師がこれまでに診療をした患者さんの医療情報から、上記腫瘍の主だった組織型を持つ患者さんを2名ずつ選びます。腫瘍標本には番号がふられ、患者さんの氏名などの個人情報を書かれていませんので、腫瘍組織を抗体で染める研究者には、どなたの腫瘍組織かわかりません。保存された腫瘍組織からはごく薄い切片を切り出して使い、残りは引き続き保存されるため、将来、組織をもう一度使いたい場合も、残りがなくなっているようなことは起こりません。

研究期間：倫理委員会承認日(2021年2月25日～2023年3月31日)

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：各診療科の共同研究者が、カルテにある病理検査の情報からそれぞれの腫瘍腫に典型的な所見を有する組織を2名分選び出し染色をする。

試料：附属病院に保存してあるパラフィン包埋標本から免疫組織染色用の薄切切片を切り出す。

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究  
計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：宇高 恵子（高知大学医学部免疫学）

連絡先：〒783-8505 南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部免疫学

Tel. 088-880-2317

-----以上